

1. 正式採用（処方開始日：2026年3月3日）
 - ◆アフリベルセプト硝子体内注射用キット40mg/mL「バイエル」（参天製薬） 眼科用VEGF阻害剤

2. 正式採用（処方開始日：2026年3月17日）
 - ◆アリピプラゾールOD錠24mg「トーワ」（東和薬品） 抗精神病薬
 - ◆エンシュアH（コーヒー味）（アボットジャパン合同会社） 経腸栄養剤（経口・経管両用）
 - ◆スピジア点鼻液5mg・10mg（ヴィアトリス製薬） 抗けいれん剤
 - ◆ドパストン散98.5%（大原薬品） パーキンソニズム治療剤
 - ◆ボルズィ錠5mg（MeijiSeikaファルマ） オレキシン受容体拮抗薬 不眠症治療薬

3. 要時発注医薬品として採用（処方開始日：2026年3月17日）
 - ◆イブトロジカプセル200mg（日本化薬） 抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤
 - ◆スピラマイシン錠150万単位「サノフィ」（サノフィ） 抗トキソプラズマ原虫剤
 - ◆プレベナー20水性懸濁注（ファイザー） 沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン
 - ◆レットヴィモ錠40mg・80mg（日本イーライリリー） RET受容体型チロシンキナーゼ阻害剤

4. 院外専用医薬品として採用（処方開始日：2026年3月17日）
 - ◆パンクレアチン「ケンエー」（健栄製薬） 消化酵素剤
 - ◆ボルズィ錠10mg（MeijiSeikaファルマ） オレキシン受容体拮抗薬 不眠症治療薬
 - ◆メラトベル錠小児用1mg・2mg（ノーベルファーマ） メラトニン受容体作動性入眠改善剤

5. 院外専用医薬品→要時発注への移行（移行日：2026年3月17日）
 - ◆マンジャロ皮下注7.5mg・10mg・12.5mg・15mgアテオス（日本イーライリリー）

6. 正式採用→要時発注医薬品への移行（移行日：2026年3月17日）
 - ◆スタラシドカプセル50（日本化薬）
 - ◆ラステットSカプセル25mg（日本化薬）

7. 正式採用→院外専用医薬品への移行（移行日：2026年3月17日）
 - ◆エビリファイOD24mg（大塚製薬）
 - ◆フルニトラゼパム錠2mg「JG」（日本ジェネリック）
 - ◆ビオチン散0.2%「フソー」（扶桑薬品工業）

8. 採用中止（2026年3月16日まで処方可能）
 - ◆アセチルスピラマイシン（サンド）
 - ◆アミサリン注200mg（アルフレッサファーマ）
 - ◆イマチニブ錠200mg「明治」（Meiji Seikaファルマ）
 - ◆エンシュアH（バニラ味）（アボットジャパン合同会社）
 - ◆カリメートドライシロップ92.59%（興和）
 - ◆シオゾール注25mg（高田製薬）
 - ◆ドパゾール錠200mg（アルフレッサファーマ）
 - ◆トプシムスプレー0.0143%（田辺ファーマ）
 - ◆ニセルゴリン錠5mg「NP」（ニプロ）
 - ◆パンクレアチン「VTRS」原末（ヴィアトリス製薬）
 - ◆ブコラム口腔用液5mg（クリニジェン）
 - ◆フランドル錠20mg（トーアエイヨー）

◆レットヴィモカプセル40mg・80mg（日本イーライリリー）

9. 採用中止（2026年3月31日まで処方可能）

◆インスリンリスプロBS注100単位/mLHU「サノフィ」（サノフィ）

◆インスリンリスプロBS注カートHU「サノフィ」（サノフィ）

◆インスリンリスプロBS注ソロスターHU「サノフィ」（サノフィ）

バイオ後続品の超速攻型インスリンを用いたパス、指示簿、処置薬はインスリンアスパルトBS注ソロスターNR「サノフィ」に一本化（2026年4月1日より）

◆スポンゼル（LTLファーマ）

◆ピコプレップ配合内用剤（日本ケミファ）

10. その他

◆アイリーア硝子体内注射用キット40mg/mL（参天製薬）

「患者限定（疾患）：「血管新生緑内障」専用へ移行、2026年3月3日に移行

◆コルヒチン錠0.5mg「タカタ」の電子カルテでの用法及び用量の上限の変更

→電子カルテでの上限を1.8mgとして、1.8mgを超える場合は「医師了承済み」のコメントが必要：

2026年3月17日から実効予定

◆ファモチジン注射液は、ファモチジン注射液20mg「トーワ」（東和薬品）に戻します。2026年3月17日に実施

2025年8月に発生したファモチジン注射液20mg「トーワ」の自主回収により、補完的にファモチン静注液20mg「サワイ」を使用していた案件

以上